

番外編：PCのメンテナンス

2019-7-27

京都市 福原浩一

今年的一大イベント、オーストラリア星空ツアーを終え、いまいち星空が拝めないことから、なかなか観望の時間を作れていません。そこで、今回は、星空写真を保存したり、編集したり、支えてくれているPCのメンテナンスについて、紹介します。

前置き：

わたしの自宅には、デスクトップPCと、小型のノートPCがあり、どちらもOSはWindows7で、購入後4～5年経過しています。まだちゃんと使えているので、特に不満はありませんでした。

それから、会社のノートPCもWindows7で、こちらも不自由していませんでしたが、来年1月にサポート期限が切れてしまうので、こちらは新たに買い替えてWindows10を使っています。実は、このPCの立ち上がりがすごく早く、使いやすいことに少しビックリし、これなら自宅PCも新しくしたい！とメンテナンスを思い立った次第です。少し調べたところ、速さの秘密はWin10だけではなく、従来のハードディスクがアクセスの速いシリコンディスク(SSD)になったことにもありました。

そこで、今回のメンテナンスは、いまあるPCを、Win7→Win10に格上げし、立ち上げ用ドライブをSSDに置き換えることとしました。

Win10への移行：

数年前にWin7からWin10への無償アップグレード期間があり、そのときに対応しておけば、良かったのですが、動作しないアプリがいくつかあったので、アップグレードを取り消したことがありました。これをもう一度実施できないかと探してみたところ、マイクロソフトのサポートに、Win10メディア作成ツールが見つかりました。どうやらこれで再度アップグレードができるようなので、使ってみました。

<移行の開始>

まず大切なのは、しくじった時に現状に戻せるように、いまのPCの情報をバックアップすることです。そのため、コントロールパネルから、バックアップの作成を選択し、システムイメージの作成を行います。事前に空き容量の大きい外付けハードディスクを用意しておくといいでしょう。(おおよそ6時間くらいかかる場合があります)専用のツールがあればもっと便利です。

それから、マイクロソフトのサポートサイトから、メディア作成ツールを探し、Win7PCにダウンロードします。これを実行すると、かなり時間がかかりますが、Win10のメディアに相当する大量のデータが自分のPCにダウンロードされて展開されます。準備が整えば、ライセンス条項が表示されるので、同意すると、“このPC”か“別のPC”かのインストール確認が表示されるので、“このPC”を選択して指示に従いアップグレードを進めると、1時間くらいで、“インストールの準備ができた”との表示が出て、“インストール”開始に進みます。また待つこと1時間くらい、数回の再起動で、Win10のログイン画面が表示されました。



ログイン後、少し待っていると、Win10 で動作しないアプリがあれば、その情報が表示されます。“無視”するしか方法はありませんが、どうしても必要なアプリであれば、対応版をダウンロードするか、最新アプリの購入が必要です。

なお、この方法では、無償アップグレード期間中に Win10 のライセンスが一時的に取得されている必要があります。自 PC が一時的に Win10 化していたかどうか、記憶が頼りです。アップグレード後にライセンスが無いと気づいた場合は、インターネットでググって安いライセンスを購入してください。（Yahoo が安かったと思います）

SSD への交換：

Win10 への移行と合わせて、起動用の C ドライブをハードディスク(HDD)からランダムアクセスの速いシリコンディスク(SSD)へ交換することがお薦めです。今回使ったのは、ハードディスクで定評の高い WesternDigital 社製の 1 TB SSD です。

手順としては、Win10 格上げと同様に、まずは C ドライブのバックアップを取っておきます。そして、購入した SSD を USB-ATA 接続ケーブルに装着し、PC からは外部記憶装置として認識できるよう準備します。このケーブルは、Amazon 等で探して購入してください。

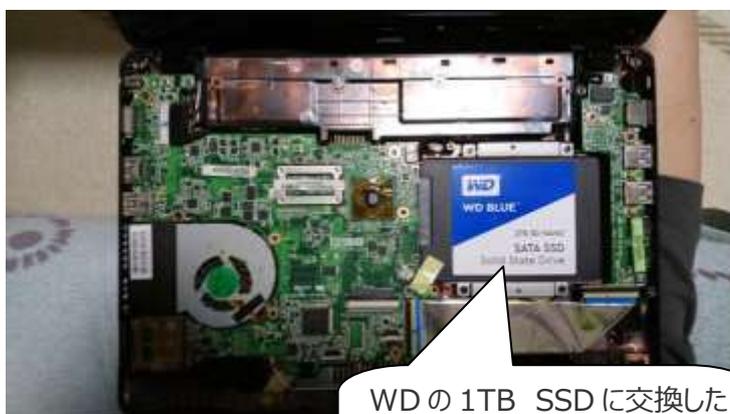
SSD のデータ準備方法は 2 通りあります。その 1) は、先ほど取得した C ドライブのイメージをそのまま外部記憶装置にインストールするものです。この方法は、少し時間がかかるので、今回は、その 2) ディスク・クローンを使います。

専用のツールがあり、市販品やフリーソフトなど、バラエティーに富んでいます。ぜひ自分で確認して良さそうなものを使ってください。今回わたしは、フリーソフトの“EaseUs Todo Backup Free”を使ってクローンしました。インターネットでこのツール名を検索すると、ハードディスクのクローン方法が結構詳しく紹介されているので、今回は手順は省略します。

通常はハードディスク用の裏ブタがある機種が多いのですが、わたしのノート PC は、ASUS Eeepc という型式で、結構コンパクトなので、ネジ留めされたフタを開けて、金属カバーを取り外す必要がありました。

でもなんとか苦労の末、1TB の HDD とクローンした 1TB の WD 製 SSD を交換して装着しました。

このあと裏ブタをもとに戻してクローンした SSD から PC を起動して、みて、うまく起動できたので、Win10 への格上げと SSD 化を完了しました。



WD の 1TB SSD に交換したところ、裏ブタを開けてここまでたどり着くのに苦労でした

結果として、Win10 が以前よりかなり早く立ち上がりました。感覚的には 2 分間かかったところ、今は 20 秒程度です。これであと 3 年くらいは使えそうです。

PC 環境は個々に違うので、一概にこうした対応ができるかどうか、分かりません。興味あれば相談いたします。

以上